

- ・ 幽体は、光に当たると分解するタンパク質が主な成分で、光を当てると水になります。幽霊が見えたのに、いなくなると濡れているという事がありますが、上記のような現象です。
- 又、幽体は、肉体を脱ぎ捨てると、だんだん足下から分解されていきます。
- 5 (修行する場所によって差はありますが、大体100年位で総て分解されます。)
 - そのため、死後間もない幽霊は全身が見えますが、死後年数が経過すると、だんだん下の方が見えなくなっていくます。
- ・ 幽体は、霊体と肉体が結合するための接着剂的な役割をしています。
- 10 そのため、肉体を脱ぎ捨てた方々は、肉体を持って生活している方に憑依することはできませんが、遺体の中に入って思い通りに動かすというようなことはできません。
- ・ 親子や仲の良い夫婦間では、元気のある方^{ほう}から元気のない方^{ほう}の体に幽体を注入して(例えば、腕一本分等)、元気にすることも出来ます。(方法については別途説明します。)

15

【^{れいたい}霊体(魂を含む)の特徴】

- ・ 霊体とは、極微粒子(素粒子よりも更に細かい粒子)で成り立っている霊細胞の集合体で、幽体よりも更に小さい極微粒子です。
- 20 個性や性格の根源である魂も霊体で出来ています。
(霊体の総てが魂という訳ではありません。)
肉眼では殆どの方は見る事が出来ませんが、希に見える方も存在します。
- ・ 魂の役割以外にも、同じ霊細胞を使い物質化現象のための元型(雛形^{ひながた}・青写真)の役割も果たします。
- 25 人間の霊体は人間の形の雛形^{ひながた}、動物の霊体には動物の形の雛形^{ひながた}、植物の霊体には植物の形の雛形^{ひながた}といった具合に、霊質(神様の与えた目的・役割)によって形が違います。
- ・ 文面を読まなくても書いている内容を一瞬で理解することが出来ます。
- 30 文面から出ている波動を受け取って内容を理解します。
- ・ 行きたい所に一瞬で移動出来ます。勿論、空を飛ぶことも可能です。
- ・ 生まれつき肉体に異常があった場合でも、幽体と霊体には異常がないので、死後、盲目だった方なら目が見える様になり、耳が聴こえなかった方は、耳が聴こえる様になります。
- 35 しかし、生きている時に交通事故などで急激に損傷を与えると、肉体と一緒に^{ゆうたい}なっている幽体と^{れいたい}霊体も損傷します。
損傷した幽体と霊体は、『神』のみ光を感謝して戴くことで、修復して^{いただ}戴くことが出来ます。
- 40 日本語を知らない外国人も、^{れいたい}霊体になれば日本語が理解出来る様になります。
- ・ 肉体を持っている時でも、自分の意志通りに動かすことが出来ます。